

## 閉会

田中羊子（日本労働者協同組合連合会センター事業団 理事長）

本日は本当に長時間ありがとうございました。今日は会場に 90 人、Web 参加 177 人、合計 267 人の埼玉県の皆さんが参加して下さいました。参加したお一人お一人が、どんな思いで、今日聞いていただいたのだろうということを、すごく思います。

今日、吉野さんが、ずっと飯能で温めていたことが、この労協法と出会ったことで「これだ！！」と思ったって言われていました。この労働者協同組合法、協同労働と出会うことで一歩を踏み出す。それまで温めてきた思いを本当に実らせる、そういうきっかけに今日の説明会がなれば嬉しいなとすごく思っています。

それでお手元にアンケートがあるのですが、是非書いていただいて、本当にお一人お一人の思いを直接受け止めたいと、感想の中にぜひ参加された動機や温めている思いも書いていただくと、これからは活かしていけると思いますので宜しく願いいたします。

あと、資料の中に 10 月から始まる「4 圏域別の実践セミナー」というチラシが入っています。今日は大高先生や仲間の皆さんから、理想の働き方だけど本当に大変で、苦労もあって失敗もあって、それを乗り越える喜びみたいなことが語られました。

是非、4 つの埼玉県地域を分けて、もうちょっと身近な地域でその地域の実践のありのままを聞いていただいて、参加された方の思いも今度はたっぷりお話頂いて、お互いが繋がり合うようなセミナーに今日の日を繋げていきたいと思しますので、どうぞよろしく願いいたします。

今日から後一ヶ月で法施行ということになります。それでこの一年半かけて、たくさんの期待の声に出会ってきました。

コロナの中で子ども食堂や居場所をやってきたけど、やればやるほどキリがなく、この活動を本業にしたい。地域づくりを仕事にできないかという相談。今、ケアの現場で働いているけれども、本当に制度も変わって、利用者の側に立てなくて、経営の効率の為に意に反する働き方をしなくてはいけない。本当に利用者や地域の側に立って、支える・支えられるが分かれるんじゃないかと、本物のケアを目指したいという方たち。

農業やものづくりや商売で、血縁ではできないけれど、別な形で継いでいくことができないだろうかという。コロナの中で失業して、本当に困窮に陥って、次働く時にはやっぱり人の役に立ちたいし、そういう悩みを聞けるような場所をつくりたい。

そういう一人ひとりの思いって、今の社会の行きづらく混乱だらけで、悩みだらけで、もうどこにそこを向けていったらいいのか、分からない状態だと。それが諦めに変わり、絶望に変わり、誰かに委ねてしまうみたいな生き方になっていく。

だから、このとっても貴重な思いをですね、一人では形にできなくても、仲間を見出して力を合わせれば、実らせていけるとというのが、この協同労働の働き方だと思っています。

第一条に全部が凝縮されている条文になっているという話がありました。この労働者って、今までの法律上では雇われる雇用従属労働者だった。それが協同組合をつくって、組合員になることによって、労働者が自分たちの労働に主権がもてる。自己決定ができる。しかも仲間と協同して働く。この働き方があるからこそ、誰もが働くことができる多様な就労の場が作れる。どんな人も効率からではなく、その人の力から出発すれば、働く場って創り出せるんだ。地域の需要に応える事業の創造。本当にないならつくっちゃえ。一人の困ったをみんなの良かったに。そういう自分たちの暮らしや地域を充実するために仕事を創り出せる。そして、誰もが本当にいきいきとその生命を活かせるような、持続可能な地域社会って、やっぱり自分たちの手で足元から創り出せるんだ。それを思いっきりやっていたよっていうことを背中を押してくれているのが、この労協法であり、第一条なんだというふうに思います。

是非この働き方は、起業家精神溢れる人たちも使うけれども、本当に普通のいっぱい暮らしの中で困難や悩みにぶつかっている“ふつうの人”一人ひとりが立ち上げられる、やれる、補い合ってつくりだせる。そういう働き方だっというように思います。是非、ハードル高く思わないで、本当に誰もがができる。しかも今困難にある人ほど必要としている、働き方だというように受け止めていただけたらと思います。

お手元の資料の中に『Workers 被災地に起つ』という、映画の上映会のチラシが入っています。なかなか話を聞いてもイメージできないけど、この被災地に協同労働を届けて、一番困難な状況にある人たちが立ち上がってく様子を映し出したドキュメンタリー映画です。本当に弱さも失敗も全部映っていますので、是非ご覧いただければと思います。

もう一つ、先ほど協同労働推進ネットワークの呼びかけがありました。誰でもできるとはいいながらも、やっぱり本当にいっぱい困難もあって、学び合って情報交換しあって、支え合って進むことが、とても大事だと思って埼玉のネットワークを立ち上げました。本当に、どうやったらできるんだろう。運営どうしたらいいんだろう。事業ってどうやったら継続できるんだろう。定款はどうしたらいいんだろう。そんな思いもいっぱいここに持ち

込んで頂いて、お互いに学びながら進んでいけたらと思っているところです。

今日、これ終わった後に、個別相談会のブースと同時にですね、せっかく足を運んでいただいて、一言ずつでも自己紹介したり、思いを聞きあうような交流のスペースも、4つのブロックに分けて用意しています。2、30分で終わりますので、もしお時間が許せばご参加いただけたら嬉しいなと思っています。

今日をきっかけに、ぜひつながっていきたい。そして今日 270 人の皆さんが聞いていただいて、この人にこの働き方を届けたいな。そんなふうに本当に足元の地域からじわじわじわじわと、この働き方が拡がり、埼玉が元気になっていく希望の力になることを本当に祈っていますし、そのことをお願いしてまとめとしたいと思います。今日は本当にありがとうございました。